

# 藝園草牧

第九卷 第十一号

昭和三十六年十二月二日(每月一回)日

夕長部 沼可字 幌内一〇六六  
雪印種苗株式会社  
中央研究農場



雪印種苗株式会社

雪印がお奨めする

# 今後活用したい飼料作物

(5)

## サットン・スペシール

(冬期飼料の高蛋白に役立ち、作り易い青刈菜豆)

乳牛の冬期貯蔵飼料としてどこでも作られるもので、デントコーンに混ぜまきする青刈莖類として従来から青刈大豆、大葉つるまめ、カウビー等が用いられて来ましたが、栽培や収穫に手間どつたり、寒冷の年には生育が劣つたり、なかなか満足できなかつたわけです。

青刈菜豆サットン・スペシール

にはこれらの欠点を完全に補つて、作り易く、収穫も多く、

写真右で見るように一〇〇%纏

絡よく上まで伸び、収穫期にみる圃場は菜

豆の畑の観を呈します。収量もデントコー

ン単作に比し、二〜三割多く、したがつて

これを材料としたエンシレーシは蛋白の非

常に高いものとなります。播種はデントコ

ーンより半月から一月おそく写真下のよう

に株元に二〜三粒、一〇坪当り二ギ内外の

種子が必要です。



## チモシーの新品種

### クライマックスとS-5-1

寒冷地帯で冬枯れを知らず、しかも草質がよく、家畜の最も嗜好する採草地用永年いね科牧草チモシーの最大の欠点は葉の少ないことです。この欠点を是正した優良品種として来春よりクライマックスとS-5-1を取扱うこととなりました。栄養生産を更に高めるために新品種の御利用をお奨めします。

### クライマックス



寒冷なカナダで重用されているクライマックスは在来種に比し、出穂期が四〜五日遅く、中生種で、草丈は在来種に比し一五センチ内外長く、多収で、重量の約二〇%は葉という多葉、高蛋白の品種です。写真は左から在来種、雪印改良種、クライマックス、改良(S系(育成中))

### S-5-1

イギリスで育成されたもの

で、チモシー中最も多収な品種

で、在来種に比し約二週間の晩

生種、草丈は幾分低いがクライ

マックス同様重量の約二〇%は

葉という高蛋白の品種です。

